

Annual Report 2010

～ストリートチルドレン支援 学生NPOの挑戦～

特定非営利活動法人 AWPS
学生スタッフチーム

Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team



理事長挨拶

私たちは1998年に社会奉仕活動を始め、2002年「世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す」という理念のもと、特定非営利活動法人 AWPSを設立いたしました。これまで多くの方々から私どもの活動にご理解、ご支援を賜りましたことを心より感謝いたします。

AWPSの支援先であるフィリピンストリートチルドレン支援NGOカンルンガン・サ・エルマも2008年には、創立20周年を迎えました。NGO設立当初に保護された子どもたちはすでに成人しています。これに伴い、支援も「危険な路上生活からの保護と就学支援」のみならず、「成人後の職業訓練」までを含めた総合的な支援プログラムへ徐々に変化しています。

下部組織である学生スタッフチームの活動も、従来の『チャリティー自動販売機普及活動』のほか、教育機関でストリートチルドレンの現状を伝える『インフォームプロジェクト』、NGOで生活する子どもたちが作った「アクセサリー」や「ポストカード」などのチャリティーグッズを販売する『チャリティープロダクトプロジェクト』など多様化しております。

学生スタッフチームは、まだまだ発展途上の組織ですが、日々試行錯誤しながら様々な活動を行い、支援先にとって必要とされる支援を継続していきたいと考えております。皆様のより一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2010年4月1日

特定非営利活動法人AWPS
理事長 藤田 信康

代表挨拶

まず長きにわたり、AWPS学生スタッフチームを支えてくださる支援者の方々に厚く御礼申し上げます。発足後、6年の歳月が経ち、AWPS学生スタッフチームに一つの大きな変化が起き始めました。周囲からプロジェクトを行う先を少しずつですが、ご紹介いただけるようになったのです。よく言われることですが、学生である私たちが社会を大きく変えることは困難なのかもしれません。しかし、少なくとも自分が変わり、出会った人だけでも変えることはできるはず。その思いから、地道に続けてきたインフォームなどの啓蒙活動の成果が実りつつあるのだと感じています。今後もこうした流れを大切にしながら、既成概念にとらわれない、より学生らしい支援を展開できるよう努力してまいります。

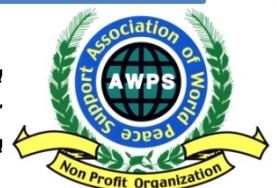
全国で50名近い高校生～大学生の学生スタッフが一丸となり、ストリートチルドレン支援活動に取り組み、自己啓発に努め、人間性を育むことを目指し、第8期も全力で進んでまいります。

今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2010年4月1日

特定非営利活動法人AWPS
副理事長 兼 学生スタッフチーム代表
藤澤 憲人

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



正式名称: 特定非営利活動法人 AWPS 学生スタッフチーム(SST)
 設立年度: 2004年7月
 基本理念: 『世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す』

プロジェクトポリシー: ①日常を通じたボランティア活動を社会に提案する
 ②支援の成果を支援者が認識できるシステムを構築する
 ③すべてのプロジェクトにおいて企業との共同を目指す

主な活動: ①チャリティー自動販売機普及活動
 ②小学生~高校生の学生にストリートチルドレンの現状を伝える活動
 ③フィリピン マニラへのスタディーツアー
 ④イベントの開催及びイベント等でチャリティーグッズを販売する活動
 ⑤企業に対する社会貢献活動の提案
 ⑥その他の活動

役員: 総代表 高田 善國(慶應義塾大学4年生)*
 代表 藤澤 憲人(関西学院大学3年生)*
 副代表 畠山 洋子(神戸大学大学院1年生)*
 監事 阪口 るり子(甲南大学2年生)
 相談役 岩佐 嘉久(SST設立発起人)*

マネージャー(組織戦略室担当) 春名 成彦(甲南大学2年生)*
 (事業部門統轄) 日坂 大起(関西学院大2年生)*
 (管理部門統轄) 黒崎 由利恵(甲南大学2年生)*

執行役員: 関東ブロック担当 チーフ 安田 早織(白百合女子大学1年生)
 九州ブロック担当 チーフ 築地 亜沙美(西南学院大学1年生)

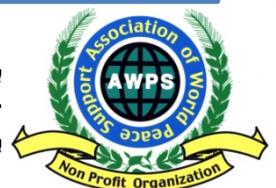
チャリティー自動販売機事業部 チーフ 日坂 大起(関西学院大学2年生)*兼任
 インフォーム事業部 チーフ 岸 美咲帆(甲南女子大学2年生)
 チャリティープロダクト事業部 チーフ 昇 実樹(関西学院大学3年生)
 プロジェクト推進部 チーフ 森岡 麻由(甲南女子大学2年生)

広報部 チーフ 上島 康治(慶應義塾大学1年生)
 総務部 チーフ 城口 薫(慶應義塾大学3年生)

スタッフ数: 50名
 (関東ブロック14名、関西ブロック33名、九州ブロック3名)
 ▽*のスタッフは理事兼任
 ▽スタッフ数は2010年4月1日現在

オフィス: 〒105-0001
 東京都港区虎ノ門2丁目7-16 ビュロー虎ノ門502号
 TEL03-5157-9909 FAX03-5157-5699

**Non Profit Organization
 Association of World Peace Support
 Student Staff Team**



ドキュメンタリー映像を作成<広報部メディア担当>

2007年よりSSTと日本大学芸術学部の学生が共同で制作を進めておりましたフィリピンのストリートチルドレンドキュメンタリー映像が完成し、第8期からインフォーム事業等での使用を開始しました。

ナレーションは、女優の柊瑠美さんにご協力をいただきました。

内容は、カンルンガンに在籍するソーシャルワーカーの活動を軸に、フィリピンの街並みやストリートチルドレンの映像を多く使用。

インフォーム事業や新規スタッフに現地の様子を知ってもらう際に活用しています。

なお、このドキュメンタリー作品(DVD)は無料で配布しております。

ご希望の方はお気軽に事務局まで、お申し出ください。(送料は希望者のご負担とさせていただきます)



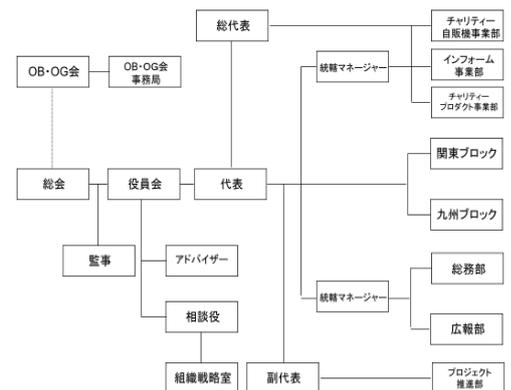
組織改正に伴い部署の名称を変更<執行部>

2009年10月1日より、インフォーム・チャリティープロダクトの両プロジェクトをプロジェクトチームから事業部へと変更し、チャリティー自動販売機事業と並ぶ中核事業に位置付けました。

また、今まで部署の役割が明確ではなかったプロジェクト統括部の名称をプロジェクト推進部へと変更し、その役割を3つの中核事業以外のプロジェクトやイベントの運営と決めました。

そして、2009年10月1日付で代表交代に伴う組織改正を行った際、各役員が統轄・担当する部門を明確化いたしました。これにより、各役員がそれぞれの統轄、担当する部門に対して今まで以上に責任を持って活動することが可能になったものと認識しています。

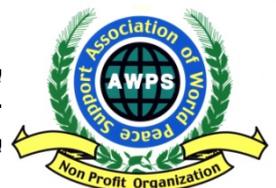
SST第8期 組織図



2009年10月25日付でSST会則を改定<総務部庶務担当>

2009年10月25日付でAWPS学生スタッフチーム会則の一部を改訂いたしました。この改訂は、組織改正によるものです。また、SST内において、中学生・高校生と大学生と一緒に活動する上で、注意すべき点を定めた『SST高校生ルール』についても一部改正いたしました。幅広い年齢層が所属するSSTが今後とも末長く活動を続けるために、スタッフ全員が会則並びに高校生ルールに従い、活動に邁進して参ります。

Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team



カンルンガン代表ソル氏を招聘<執行部>

支援先NGOカンルンガン・サ・エルマ代表のソル・M・バルベロ氏を2009年9月23日～10月3日の11日間招聘し、支援先への訪問や講演会を開催しました。

ソル氏スケジュール

- [9月24日]
- 大阪青凌高校において講演会
- 株式会社ベストバイ様が運営する良品買館2店舗を視察
- [9月25日]
- 株式会社ベストバイ様の本社にて社員の方を対象に講演会
- [9月26日]
- 立命館守山高校にて講演会
- 岡山市に移動し、ヒカリグループを表敬訪問
- ヒカリグループの会議室にて講演会
- [9月27日]
- SST主催の講演会を甲南学園の平生セミナーハウスで開催
- [9月28日]
- 聖母学院高校にて講演会
- 数名のSSTスタッフと夕食
- [9月30日]
- 甲南高校にて講演会
- 千里国際学園高等部にて講演会
- [10月1日]
- 株式会社ヒロコーヒー様へ、カンルンガンが運営するファームで収穫したコーヒー豆の販売依頼
- 甲南女子大学対外協力センターを訪問し、文学部のご担当者にスタディーツアーでカンルンガンを訪問していただけるよう依頼



Webas(ウェバース)との事業提携<執行部>

甲南大学 経営学部EBAコースの学生が中心となって結成した国際協力サークルWebas(ウェバース)と2010年1月に事業提携を結びました。提携事業で中心的な役割を担うWebasメンバー3名を正式な学生スタッフとして、5名程度のWebasメンバーを登録スタッフとしてそれぞれ迎え入れました。提携事業は、①フィリピンマニラへのスタディーツアー事業 ②企業への社会貢献活動の提案事業 ③インフォーム事業の3事業です。留学経験から国際協力に高い関心を抱く学生が多く所属するWebasとの事業提携により上記3事業をより活気ある事業へと推し進めていきます。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



チャリティー自動販売機事業 (チャリティー自動販売機事業部)

アサヒカルピスビバレッジ、サントリーフーズ等の飲料メーカーのご協力のもと運営されているAWPSのチャリティー自動販売機事業。

自動販売機の広告欄にはストリートチルドレンの写真とステッカーが貼られており、消費者が通常売価で飲料を1本購入するたびに、3円～10円の支援金がAWPSに寄付されます。そして、収益の中から毎年200万円以上のお金がマニラのNGOカンルンガンに送金されています。飲料を購入するという日常の何気ない行為がストリートチルドレン支援につながるチャリティー自動販売機は全国の教育機関をはじめとする様々な場所で稼働しています。学生スタッフチームでは、『1台のチャリティー自動販売機が1人のストリートチルドレンの未来を変える』を合言葉に今後とも、AWPSのチャリティー自動販売機を普及させるべく、活動を続けて参ります。

設置台数：247台 (2010年3月31日現在)

新規設置台数：6台 (第7期)



インフォーム事業 (インフォーム事業部)

中学校・高等学校などの教育機関に学生スタッフが訪問し、マニラのストリートチルドレンの現状を伝えるインフォーム事業 (旧AWPS授業プロジェクト)。学生スタッフが、マニラの路上で生活するストリートチルドレンと出会い、感じたことを学生の目線で、ありのままお伝えしています。

また、全国の47都道府県で各都道府県から代表校を1校ずつ選出し、インフォームプロジェクトを開催する『インフォームプロジェクト真実のバトン』は、財団法人 大阪コミュニティ財団の助成事業にご指定いただきました。(事業実施期間：2008年4月～2010年3月予定)

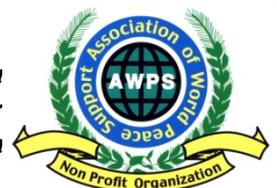
インフォームプロジェクトを開催した学校の生徒からは、「ストリートチルドレンの子どもたちが笑顔で生活している映像を見て元気づけられた」などの感想が寄せられています。インフォームプロジェクトチームでは、今後もより多くの日本の学生にストリートチルドレンの現実を伝え続けます。

開催実績：17回 (第7期) [教育機関 15回 企業 2回]

* ソル氏招聘時の講演会及びカンルンガンチャリティーコンサート
出演校向けインフォーム事業を含む



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



チャリティープロダクト事業<チャリティープロダクト事業部>

チャリティープロダクト事業では、各種イベントにプロモーション目的で出展し、写真パネル等を掲示して、より多くの人にストリートチルドレンの現状を知っていただく活動をしております。同時に各種イベントでは、通常よりも売価が安い上、収益が全額ストリートチルドレンに寄付されるチャリティードリンクの販売や、支援先団体カンルンガンで生活する子どもたちの手作りのカンルンガンチャリティーグッズ(ミサンガ、アクセサリ、ポストカードetc...)を販売しております。

また、第7期よりカンルンガンが運営するファームで収穫された黒コショウとコーヒー豆の販売を正式にスタートさせました。

教育機関での学園祭等のイベントで、チャリティードリンクやチャリティーグッズを販売していただく活動も行っており、第6期以降、関西・関東・九州の全ブロックでイベントへの出店を積極的に行っています。

売上金額: ¥667,148 (第7期)

プロモーション出展: 5回 [関西ブロック3回 関東ブロック2回]



世界子どもの日募金2009<プロジェクト推進部>

11月20日は「世界こどもの日」です。世界こどもの日は、国際連合が「子どもたちの世界的な友愛と相互理解を促し、子どもたちの福祉を増進させること」を目的とし、制定された国際Dayのひとつです。

過去にインフォームプロジェクトを実施した学校など6つの高等学校にご賛同いただき、登下校時に各行生徒会や有志の皆さんが募金箱を持ち、呼びかける形で行われました。

また、関西ブロックでは、JR芦屋駅と阪急西宮北口駅でSSTスタッフが街頭募金を実施。ストリートチルドレンへの支援を呼びかけました。

【ご協力いただきました学校名】

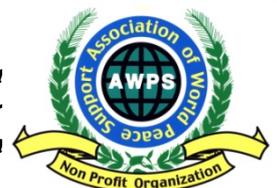
甲南小学校	甲南高等学校
立命館守山高校	聖母学院高等学校
大阪青陵高等学校	千代田女学園

2008年実績 ¥134,839

2009年実績 ¥66,797



Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team



AWPSスタディーツアー2009を開催〈プロジェクト推進部〉

SSTでは年に数回、現地の子どもたちとの交流を目的とした、スタディーツアーが開催されます。今期は下記の日程で開催されました。

日 程： 2009年8月28日(金)～8月31日(月) グループA
 2009年9月04日(金)～9月07日(月) グループB
 参加者： 16名(引率の藤澤代表も含む)
 内訳・・・スタッフ参加者11名 一般参加者5名

毎年夏にスタッフとその知人を対象に開催しているAWPSスタディーツアーも今回で4回目の開催となり参加者はのべ90名を超えました。

ツアーの回数を重ねるごとにツアーの質は高まり、2年連続で参加される方も増えて参りました。今回のツアーから日中カンルンガンの施設に来ている子どもたちの家庭への見送りやタグタイでの宿泊など新たな試みがたくさんありましたが、いずれも好評であったため、来年のスタディーツアーでも採用する予定です。しかし、一部の参加者から内容は盛りだくさんだが、スケジュールがタイト過ぎるとのご指摘をいただき、来年以降は5泊6日で開催することを考えております。



カンルンガンチャリティーコンサート2010〈プロジェクト推進部〉

昨年に引き続き、2010年3月20日神戸市東灘区の甲南大学甲友会館に大ホールにおいてカンルンガンチャリティーコンサート2010を開催いたしました。開催にあたっては、ヒカリグループ様をはじめとする10社以上の企業にご協賛をいただきました。また、当日は200名以上のお客様にご来場いただき大成功に終わりました。

事業名称:カンルンガンチャリティーコンサート2010

-あなたにとっての家族とは-

Presented by HIKARI GROUP

開催日時: 2010年3月27日(土)

会場: 甲南学園 甲友会館 大ホール(400名収容)

主催: 特定非営利活動法人 AWPS 学生スタッフチーム

後援: 兵庫県、神戸市

協力: 学校法人 甲南学園(甲南大学、甲南高等学校、甲南中学校)

出演: 甲南高等学校 プラスアンサンブル部

武庫川女子大学付属高校 コーラス部

神戸大学附属住吉中学校 コーラス部

立命館守山中学校高等学校 吹奏楽部

灘高等学校 クラシック研究部

甲南小学校 有志によるストリートチルドレン作文朗読



**Non Profit Organization
 Association of World Peace Support
 Student Staff Team**



ソーシャルワーカー体験ツアー〈執行部〉

財団法人地球市民財団の助成事業として、マニラの支援先団体カンルンガンへ4名の高校生を派遣する事業を実施いたしました。SSTの中核事業であるインフォーム事業を行った学校を中心に募集したところ、募集枠4名に対し12名の高校生にご応募いただいたため、選考合宿を行いました。

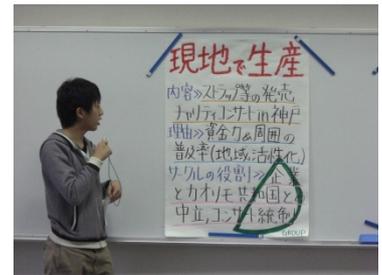
選考合宿の結果、4名派遣者と2名の補欠が決定し、2010年3月17日～3月23日までの5泊6日でSW体験ツアーを開催いたしました。

現地では、スモーキーマウンテンや、線路沿いのスラムなど様々な場所を視察することに加え、事前のミーティングで参加者が計画したプロジェクトを行いました。心理学に興味のある者や、環境問題に興味のある者など参加者の興味も様々で、固定観念にとらわれない様々なプロジェクトが計画され実施されました。

また、帰国後には開催報告会を行い、自分たちがフィリピンで行ってきたプロジェクトとそれから学んだ自身の価値観の変化について報告しました。

派遣者4名が所属する学校名

東京都立国際高等学校(3年生)	立命館守山高校	(1年生)
立命館守山高校	(3年生)	千里国際学園高等部(2年生)

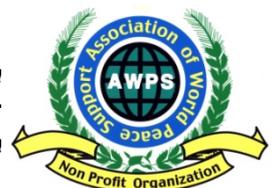


ソーシャルワーカー体験ツアー 参加者の感想

今回のツアーに参加する前までのストリートチルドレンやストリートに暮らす人々に対する私のイメージは、家族や周りの人々や社会とのつながりがとても薄く一人ぼっちの、暗く寂しい生活をしているといったものでした。しかしカンルンガンの施設の子どもたちやソーシャルワーカーが担当しているストリートに住む人々の姿を目の当たりにして、私のイメージは今までに得た限りある情報の中から作られた単なる『イメージ』でしかないということを知りました。それぞれに家族がいて、友達がいて、支援してくれる大勢の人々がいて...誰もが人とのつながりの中で生きているということ、決して一人ぼっちではないということ、そ住んでいる場所や環境は違うけれど、どこの国の誰でも一緒であるということを感じました。



Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team



2010年4月1日付で組織改正〈執行部〉

2010年4月1日より更なる組織の飛躍を目指して、組織改正を行いました。今回の組織改正では、各役員の統轄部門を変更した他、相談役の統轄部門として『組織戦略室』を新設。各部門が日々の活動に忙殺され、組織の今後のあり方や戦略を考える余裕がない現状を打破すべく、同部門には情報収集、情報分析を積極的に行い、将来の組織のあり方や目的達成に向けた戦略を立てるシンクタンクのような役割を果たしてもらいます。

また、第7期までは、管理部門の機能が関東ブロックと関西ブロックに分散していましたが、第8期では、広報部・総務部の両管理部門のチーフを関東ブロックから選出することにより、事務局のある関東ブロックに管理部門の機能を集約することが可能となりました。

そして、大きな世代交代の時期を迎えた関東ブロック、九州ブロックを代表の管轄とすることで、両地区ブロックの規模拡大に向けて注力する環境が整いました。

3部門[広報・財務・人事]戦略を発表〈組織戦略室〉

SSTにとって強化が急務といえる広報・財務・人事の3部門において、組織をより強くするための戦略を策定し、2010年10月1日に発表いたします。第8期は、組織を下支えするこの3部門の戦略を明確にし、管理部門の強化を図ります。なお、この戦略は広報部・総務部の各担当者と組織戦略室が共同で策定する予定です。

OB・OG会の設立〈執行部〉

SSTは2004年の設立以来7年目を迎え、多くのOB・OGを輩出しています。そのため、第8期よりOB・OG会を設立し、卒業生がSSTの活動を組織的にサポートする体制を整える予定です。

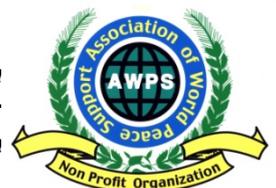
なお、初代OB・OG会長には、理事や学生スタッフチーム副代表を歴任した磯崎洋氏が、事務局長は学生スタッフチームの馬場晃(明治大学3年生)がそれぞれ就任いたしました。

更なる助成金獲得〈総務部財務担当〉

第8期もプロジェクトの活発化に向けて、引き続き各種財団への助成申請を行っていく予定です。

特に第7期に開催した「ソーシャルワーカー体験ツアー」のような高校生を対象とした事業を申請していく予定です。国際協力・社会貢献に関心を持つ、高校生が助成事業に参加することで、関心を深め、将来は国際協力や社会貢献に対する強い想いを持った人材の育成を目指します。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



チャリティー自動販売機事業(チャリティー自動販売機事業部)

チャリティー自動販売機事業部では、生活に根ざした支援を目標に“ジュースを買う”といった日常行為に寄付を結びつけた活動を行っています。昨今、自動販売機1台あたりの売上が落ちており、現在設置しているチャリティー自動販売機の台数だけでは、数年後、現在行っている支援と同程度の支援を行うことが難しくなってきます。

そのため、さらに多くのチャリティー自動販売機を設置することが必要となってきます。

第8期は、30台のチャリティー自動販売機の新規設置を目標とし、現在チャリティー自動販売機を設置していただいている方々に支援の成果を実感していただけるような取り組みを行って参ります。



インフォーム事業(インフォーム事業部)

第8期は、第7期に作成した提案先リストをもとに、積極的に学校などの教育機関へインフォーム事業の開催を依頼し、既存のスライドやDVDを活用して、より質の高いインフォーム事業を行っていきます。

そして、学校の授業での開催のみならず、生徒会や部活動を対象とした比較的小規模なインフォーム事業にも取り組みます。

また、学校などにおいて1回限りのインフォーム事業ではなく、ある一定期間で数回開催するインフォームなど様々なタイプのインフォーム事業に挑戦していきます。(第8期目標:15ヶ所での開催)



チャリティープロダクト事業(チャリティープロダクト事業部)

第8期は、第7期で得た経験や、知識そして人脈を活かしてカンルンガングッズを常時販売していただける店舗の開拓や教育機関のイベントにおけるカンルンガングッズを販売に特に力を入れて取り組んで参ります。また、日本の学生とカンルンガン子どもたちが共同で新たなカンルンガングッズを製作するという新企画や、ミサンガを新しい形で販売する企画を現在進めています。

第8期の売上目標は第7期と同じく80万円とし、チャリティープロダクト事業がカンルンガンで生活する子どもたちの自立支援の一助となるよう目標達成に努めます。

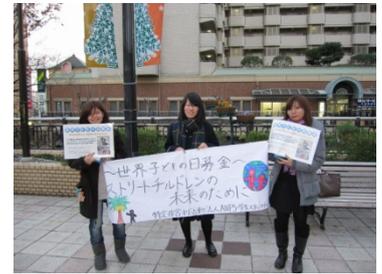


**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



世界こどもの日募金2010開催<プロジェクト推進部>

第7期よりも、参加校を15校増やし、20校程度の学校で募金にご協力いただけるよう、早い段階から準備を進める予定です。普段からSSTとお付き合いのある学校を中心に呼びかけ、ご協力いただける学校には、募金前にインフォーム事業を開催し、ストリートチルドレンの現状を知っていただいた上で、募金活動に参加していただくことを考えています。また、関西ブロックだけでなく、関東ブロックでも街頭募金を行うなど事業規模を拡大させていきたいです。そして、第7期に達成できなかった目標20万円を上回り、カンルンガンへの支援を増やせるように努力していく所存です。



カンルンガンチャリティーコンサート2011開催<プロジェクト推進部>

過去に2度開催したカンルンガンチャリティーコンサートの共通の反省点は、観客動員が上手くいかないことでした。3度目の開催となるカンルンガンチャリティーコンサート2011では、観客の動員に重点をおき、比較的早い段階から準備を進めてまいります。また、出演者の皆様やご来場の方々に今まで以上にフィリピンのストリートチルドレンの現状を知っていただくインパクトのある演出を企画いたします。過去2回の反省点を踏まえ、より大きなカンルンガン支援につながるチャリティーコンサートとなるように努めてまいります。



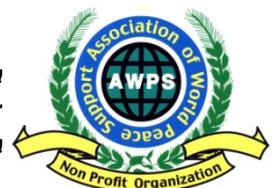
株式会社ベストバイ様との提携<プロジェクト推進部>

SSTでは、リサイクルショップを経営される株式会社ベストバイ様に対し、年式が古く日本のリサイクル市場で売れなくなった家具や家電をマニラに輸送し、現地で販売した収益をストリートチルドレン支援にあてる社会貢献活動を提案し、現在、実施に向けて準備を進めております。この活動により、現地で販売したリサイクル品の収益を全額、カンルンガンにご寄付いただけるだけでなく、販売店でカンルンガンの卒業生を雇用していただくなど、非常に大きな支援が期待されています。

SSTがこの社会貢献活動を提案したのが、2008年4月のことでした。それ以降、経済情勢の悪化などの要因もあり、企画はストップしていました。しかし、2010年2月に2010年上半期中には、マニラにリサイクル品の輸送を開始することが決定し、株式会社ベストバイ様のカンルンガン支援が1歩前進したと言えます。

第8期では、この動きをもとに支援プランのブラッシュアップを図り、年内には、株式会社ベストバイの現地法人設立を目指します。そして、第8期中には、マニラにベストバイのリサイクルショップ1号店をオープンできるように努力して参ります。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



AWPSスタディーツアー〈プロジェクト推進部〉

2006年よりAWPSスタッフとその知人を対象に開催しているAWPSスタディーツアーを2010年夏にも開催します。現在までにAWPSが開催したスタディーツアーには、のべ80名以上の方が参加され、回数を重ねるごとにツアーの質も向上していると言えます。今後とも、できるだけ多くの方がフィリピンに足を運び、何かを得て成長できる。また、1度行ったことのある人でも、新たな発見ができるツアーになるように努めて参ります。

[AWPSスタディーツアー2010開催予定]

2010年8月23日～8月27日	関西国際空港発着	8名程度
2010年8月27日～8月31日	成田国際空港発着	8名程度



旅行会社と共同で開催するスタディーツアー〈プロジェクト推進部〉

第7期までJTB教育旅行神戸支店様と共同でスタディーツアーを企画して参りましたが、第8期からは他の旅行会社と共同でスタディーツアーを催行する予定です。2010年5月には、旅行会社数社に企画を持ち込み、積極的な販売が期待でき、より安価でツアーを販売できる旅行会社と共同でスタディーツアーを催行します。

第8期中に必ず旅行会社と共同でボランティアツアーを催行し、同ツアーで40名以上の参加者獲得を目指します。



オーダーメイド型スタディーツアーの開始〈プロジェクト推進部〉

大学のサークル等のグループ単位(6名以上)で、日数や訪問場所、宿泊するホテルまでカスタマイズできるのが、この「オーダーメイド型スタディーツアー」です。参加グループに、自分たちが見たいもの、行きたい場所を選んでいただくことで、より充実したスタディーツアーになることは間違いありません。また、宿泊先をホテルからペンションに変更するなど、料金を安くすることも可能となります。今後、実現化に向けて、パンフレットの作成や大学へのプロモーション、申込を行うシステムの構築などに取り組んで参ります。

[オーダーメイド型スタディーツアーでカスタマイズできる項目]

日数・発着地・航空会社・宿泊先・訪問先・アテンドスタッフの有無 etc

※カンルンガンの施設4ヶ所には必ず訪問して頂きます。



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**

